

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大阪府営豊中新千里南第2期高層住居	階数	地上12F
建設地	大阪府豊中市新千里南町二丁目	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、法22条	平均居住人員	319人
地域区分	6地域	年間使用時間	5,000時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年1月 予定	評価の実施日	2021年10月29日
敷地面積	6,367㎡	作成者	真鍋 基夫
建築面積	699㎡	確認日	2021年12月6日
延床面積	6,325㎡	確認者	真鍋 基夫

本図を右クリックし、「図の複製」を選択していただくことで、外観図等を貼り付けることができます。

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	81%
③上記+②以外の	81%
④上記+	81%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.9

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

音環境	2.9
温熱環境	3.0
光・視環境	3.5
空気質環境	4.3

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

機能性	2.6
耐用性	2.9
対応性	3.0

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

生物環境	2.0
まちなみ	2.0
地域性・	3.5

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.4

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

建物外皮の	3.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.4
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

水資源	3.0
非再生材料の	3.4
汚染物質	3.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

地球温暖化	3.7
地域環境	2.9
周辺環境	3.1

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>耐久性があり長寿命となるように設計した。</li> <li>地域に開放された施設を設け、周辺環境に配慮した。</li> </ul>	0
<b>Q1 室内環境</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>開口部を大きく設けた。</li> <li>VOC放散量の少ない建材を使用した。</li> </ul>	<b>Q2 サービス性能</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>耐久性がある躯体材料を使用した。</li> <li>バリアフリー化を図った。</li> </ul>
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>可能な限り緑地帯を設け植栽を配置した。</li> </ul>	
<b>LR1 エネルギー</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>省エネルギーに配慮した建物とした。</li> </ul>	<b>LR2 資源・マテリアル</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>資源の有効活用を図り、リサイクル資材を使用するように心掛けた。</li> </ul>
	<b>LR3 敷地外環境</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>周辺環境への影響をできるだけ低減できるような建物配置とした。</li> </ul>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R3-0094

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	大阪府営豊中新千里南第2期高層住宅(建て替え)新築工事							
	建設地	豊中市新千里南町二丁目							
	用途/区分	集合住宅							
【評価結果】	CASBEE 総合評価			<b>B+</b>					
①	CO2削減			<b>4</b>					
②	みどり・ヒート アイランド対策			<b>3</b>					
③	建物の断熱性			<b>3</b>					
④	エネルギー削減			<b>4</b>					
⑤	自然エネルギー直接利用			<b>○</b>					
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		—

## エネルギー消費量の報告

対象外

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.7	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	4.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.0	3
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.4	4
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	-

【その他】		
	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		